

大気環境学会 第 61 回年会（2020 年）に向けて

～ 私案としての指針 ～

2016.1.13. 皆巳

1. 中部支部における年会の開催実績と予定

回数	12	16	24	31	40	46	49	54	61
開催年	1971	1975	1983	1990	1999	2005	2008	2013	2020
開催地	名古屋	新潟	四日市	金沢	津	名古屋	金沢	新潟	？
間隔		4年	8年	7年	9年	6年	3年	5年	7年

2. 中部支部の在籍会員（2014年の役員選挙時：その後も増減あり？）

	愛知	岐阜	三重	静岡	新潟	福井	石川	富山	長野	山梨	計
民	18	0	0	4	1	0	0	0	2	0	25
公	10	2	5	4	21	3	0	5	8	0	58
学	17	4	0	4	3	1	5	5	3	4	46
他	1	0	1	1	0	0	0	0	2	0	5
計	46	6	6	13	25	4	5	10	15	4	134

3. 第 61 回年会の開催候補地（順不同）

名古屋：マンパワー最大の地

名大／国際会議場／ウインクあいち（愛知県産業労働センター）

富山：未開催地の中ではコアメンバーの確保が最も期待できる？

県民会館／パレブラン高志会館

長野：未開催地の中では愛知・新潟に次いで会員が多い

信州大工学部／J A長野県ビル＋生涯学習C

4. 今から始める準備

支部の**体制づくり**

今期は**東海地区**が理事不在 → 年会の開催地に関わらず次期からは選出？

会員の増強と年会に向けた**雰囲気づくり**

←（理事の選出県にこだわらず）各県で支部総会や講演会を開催

勧誘の対象：地環研の現場実務者、県庁・市町村の関連部署、学生など

以上